ESET Endpoint Protection シリーズ クライアント管理 クラウド対応オプション Lite(7.0) 利用手順書





ENDPOINT PROTECTION STANDARD

第1版

2019年4月

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

| 目》 | 欠 |
|----|--|
| 目次 | R2 |
| 1. | はじめに3 |
| 2. | 必要な作業について4 |
| 3. | 事前準備5 |
| 4. | 既存ウイルス対策ソフトのアンインストール【クライアント側作業】14 |
| 5. | クライアント端末への展開【管理サーバー側作業】 【クライアント側作業】 15 |
| 6. | クラウドオプションで管理できていることを確認【管理サーバー側作業】58 |

1. はじめに

- 本書は、法人向けサーバー・クライアント用製品「ESET クライアント管理 クラウド対応オプション Lite(以下、クラウドオプション Lite)」をご利用になるお客さま向けの手順書となります。
- 本書は、本書作成時のソフトウェア及びハードウェアの情報に基づき作成されています。
 ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに搭載されている機能及び名称が異なっている場合があります。また本書の内容は、将来予告なく変更することがあります。
- 本書内の画面イメージは、Windows10 をベースにして作成しております。そのため、 OS によっては記載内容と名称が異なっている場合がございます。
- 本書内の画面イメージは、ESET Endpoint Security V7 を使用しています。他のプロ グラムでも導入の流れに違いはございません。各プログラムのインストールおよび、ア ンインストール手順に関しましては、弊社ユーザーズサイトで公開しています、各プロ グラムのユーザーズマニュアルを参照ください。
- 本製品の一部またはすべてを無断で複写、複製、改変することはその形態問わず、禁じます。
- ESET、NOD32, ThreatSense, LiveGrid, ESET Endpoint Protection, ESET Endpoint アンチウィルス, ESET File Security, ESET NOD32 アンチウィルス, ESET Security Management Center は ESET, spol. s r.o.の商標です。Microsoft、Windows、Windows Server、Internet ExploIrer、Windows Live は、米国 Microsoft Corporationの米国、 日本およびそのほかの国における登録商標または商標です。使用は予告なく変更する場 合があります。

2. 必要な作業について

ESET クライアント管理 クラウドオプション Lite をご利用いただくにあたり、必要な作業 は以下の通りです。クラウドオプション Lite のご利用の際には、必ず「3.事前準備」をご 確認いただき、導入作業の流れ、必要な情報を確認の上、導入作業を進めるようにしてくだ さい。



3. 事前準備

3.1. 動作環境・接続環境の確認

クラウドオプション Lite をご利用になる前に、下記 Web ページにて動作環境をご確認いただき、利用可能な環境をご用意ください。

- ESET Endpoint Protection Advanced 動作環境 https://eset-info.canon-its.jp/business/endpoint_protection_adv/spec.html
- ESET Endpoint Protection Standard 動作環境 https://eset-info.canon-its.jp/business/endpoint_protection_std/spec.html

3.2. 管理可能なプログラムの確認

クラウドオプション Lite では、クライアント管理用プログラム「ESET Security Management Center (ESMC)」をクラウド上にご用意して提供させていただきます。

クラウドオプション Lite で管理できる、法人向けサーバー・クライアント用製品のプログ ラムは以下となります。(2019 年 3 月時点) 対象プログラムとバージョンをご確認のうえ、ご使用ください。

| Windows | | Ma | ас | Linux | Android | | Windows | | | Linux | |
|---------|------|------|------------|-------|------------|----|---------|------|------|------------|------|
| EES/EEA | | EAVM | EES/EEA | EAVL | EESA | | EFSW | | EFSL | | |
| | ₩1 | | ※ 2 | ж з | ※ 4 | * | 5 | × 6 | | ※ 7 | |
| V5 | V6.X | V7.X | V4.1 | V6.X | V4 | V1 | V2.X | V4.5 | V6.X | V7.X | V4.5 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | × | × | 0 | 0 | 0 | 0 |

※クラウドオプション Lite では、モバイルデバイスの管理はできません。

- ※1 EES=ESET Endpoint Security / EEA=ESET Endpoint アンチウイルス
- ※2 EAVM=ESET NOD32 アンチウイルス for Mac
- ※3 EES=ESET Endpoint Security for OS X / EEA=ESET Endpoint アンチウイルス for OS X
- ※4 EAVL=ESET NOD32 アンチウイルス for Linux Desktop
- %5 EESA=ESET Endpoint Security for Android
- %6 EFSW=ESET File Security for Microsoft Windows Server
- %7 EFSL=ESET File Security for Linux

3.3. 注意事項、および禁止事項について

クラウドオプション Lite をご利用いただくうえでの注意事項、および禁止事項がございま す。必ず下記をご確認のうえ、ご利用ください。

| | 【注意事項】 | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|
| 1 | クラウドオプション Lite で使用する通信ポートについて クライアント用プログラムを管理するには、クライアント用プログラム および 管理画面端末から、クラウド上管理サーバーESET Security Management Center の以下のポート(ESMC)へ通信できる必要があります。 | | | | | |
| | ・2222/TCP : ESET Management エージェント(EM エージェント)が ESMC と通信する際に利用 ・443/TCP : ESMC が管理画面利用端末からの Web コンソールアクセスを 受ける際に利用 ・80/TCP : 検出エンジンのアップデート用サーバーがクライアント用プロ ・443/TCP グラムからのアクセスを受ける際に利用 | | | | | |
| | 【HTTP プロキシ経由する場合】 HTTP プロキシ経由で ESMC に EM エージェントを接続する場合は、以下の条件を 満たす必要がありますので、ご注意ください。 | | | | | |
| ・HTTP プロキシが ESMC で利用する TLS/SSL 通信(2222/TCP)を転送 こと ・HTTP CONNECT メソッドをサポートしている ・プロキシ認証を必要としないこと(ユーザー名/パスワード設定不可) ・プロキシサーバーから、上記ポートへ通信できること | | | | | | |
| 2 | ② ウェイクアップコール(ESMC とクライアントの即時通信)について ESMC は ESET Push Notification Service (EPNS)を利用して EM エージェント にウェイクアップコールを送信し、即時通信することが可能です。 ウェイクアップコールを利用する場合は、以下の条件を満たす必要があります。 | | | | | |
| | | | | | | |
| | 転送セキュリティ SSL | | | | | |
| | プロトコル MQTT(コンピューター間接続プロトコル) ポート 9992 | | | | | |
| | EPNS サーバーのホストアドレス epns.eset.com | | | | | |
| | ※ HTTP プロキシを経由することはできません。 | | | | | |

- 3 既定のグループのグループ名変更について クラウドオプション Lite の ESMC では、お客さま用に既定のグループを一つ用意しております。
 既定グループのグループ名は、変更しないでください。
- バックアップ及びメンテナンスについて クラウドオプション Lite サーバー全体のバックアップを毎日 AM2 時~AM4 時で 取得します。バックアップ取得中の数分間、ESMC が停止します。 この間にタスクを設定するとタスクが実行されない場合がありますので、本時間内 にタスクのスケジュールの指定は行わないようにしてください。 また、クラウドオプション Lite は複数のお客様との共用サーバーのため、お客様環 境ごとのバックアップは実施しておりません。
- ⑤ ESMC 上のログ保存について ESMC が取得するクライアント PC からの各種ログデータについては、6 ヶ月間保存します。また、保存期間を変更することはできません。

【禁止事項】

- ESET Management エージェントの接続間隔について クラウドオプション Lite の ESMC とクライアント(EM エージェント)の接続間隔 は既定で「20分」に設定されており、変更することはできません。
- 2 レポートファイルの過度なダウンロードについて レポートファイルをダウンロードする場合、一日に合計 30MB 以上のダウンロード は実施しないでください。

3.4. 使用できない機能、及び機能制限について

クラウドオプション Lite では下記機能がご使用いただけませんのでご注意ください。

| | 機能名 | | 設定場所 |
|----|--|--|------------------------------------|
| 1 | レポートの電子 メールによる送 信 | レポートを電子メールで送信する機能 | [詳細] -[サーバータスク] -[レポートの作成] |
| 2 | 通知 | SNMP トラップサービスや Syslog への送 信、電子メールにより、管理者へメール通 史する機能 | [通知] |
| 3 | エージェント展 開 | EM エージェントをリモートで展開する機 能 | [詳細] -[サーバータスク] -[レポートの作成] |
| 4 | 静的グループの 同期 | AD/VMware/LDAP と連携して、 管理サーバー上に静的グループを自動で作 成する機能 | [詳細] -[サーバータスク] -[静的グループの同期] |
| 5 | ユーザー作成 | 管理サーバーにログインするための ログインアカウント作成機能(アクセス権 の設定) | [詳細]-[ユーザー作成] [詳細]-[権限設定] |
| 6 | モバイルデバイ スの管理 | モバイルデバイス(Android、iOS)を追 加・管理する機能 | - |
| 7 | EM エージェン トのローカル展 開 | EM エージェントのインストーラーを用い て EM エージェントをインストール | - |
| 8 | ピア証明書の 作成 | ピア証明書と認証局を作成する機能 | [詳細]-[ピア証明書] [詳細]-[認証局] |
| 9 | ライセンスの 追加 | 新規にライセンスを追加する機能 | [詳細] -[ライセンス管理] |
| 10 | 監査ログ | 監査ログの作成と閲覧機能 | [レポート]-[監査ログ] |
| 11 | ユーザー同期 | AD と連携しユーザー情報を同期する機能 | [詳細] -[サーバータスク] -[ユーザー同期] |
| 12 | レポートの作成 | サーバータスク機能を利用してレポートを サーバー上に作成する機能 | [詳細] -[サーバータスク] -[レポートの作成] |
| 13 | サーバー設定 | 管理サーバーの設定変更 | [管理]-[サーバ設定] |
| 14 | Rogue Detection sensor を利用 したコンピュー 夕追加 | Rogue Detection sensor コンポーネント をインストールし、コンピュータを追加す る機能 | - |

■ クラウドオプション Lite での機能制限について

クラウドオプション Lite では、下記機能をご利用いただくことはできますが、既定で テンプレートが用意されておりません。 ご利用になる場合は、下記を参考にお客さまご自身で作成ください。

| | 機能名 | 参考 |
|---|---------------|---|
| 1 | ポリシー | ESET Security Management Center ユーザーズマニュアルより 「8.10 ポリシー」 |
| 2 | 動的グループ (※) | ESET Security Management Center ユーザーズマニュアルより 「8.14.1.8 動的グループ」 |

※ 動的グループとは、指定した条件(OSなど)に合わせて、管理しているコンピュー ターをリアルタイムに自動でグループ分けするグループ機能です。

3.5. 既に ESET 製品をご利用いただいている場合の移行方法の確認

ご使用されている環境により移行方法が異なります。下記をご確認ください。

(1)個人向け製品を使用

個人向け製品のプログラムはクラウドオプション Lite で管理することができません。 法人向けサーバー・クライアント用製品のプログラムに入れ替える必要があります。

⇒「3.事前準備」で作業の流れ、必要な情報を確認後、「4.既存のウイルス対策ソフトの アンインストール【クライアント端末側作業】」以降の作業を実施してください。

(2) 既に法人向けサーバー・クライアント用製品プログラムを使用。 クライアント管理は未実施、または、旧バージョン ERA V5 で管理を実施

ご利用の法人向けサーバー・クライアント用製品プログラムが、クラウドオプション Lite で管理可能なプログラムの場合、EM エージェントを導入することで、クラウドオプション Lite でクライアント管理を行うことができます。

⇒「3.事前準備」で作業の流れ、必要な情報を確認後「5.クライアント端末への展開」にて、 【既存お客様向け】の手順を参照し、クライアント管理を実施してください。

(3) 既に法人向けサーバー・クライアント用製品プログラムを使用。 ERA V6または、ESMCV7(オンプレミス)で管理を実施

クライアントの管理を社内にオンプレミスで構築したERA V6またはESMC V7からクラウドオプションLiteに変更する場合には、現在インストール済みのERAエージェントまたはEMエージェントをアンインストールし、新たにクラウドオプションLite用のEMエージェントをインストールすることで、クラウドオプションLiteで提供している管理サーバー(ESMC)に管理を変更することができます。

⇒コントロールパネルのプログラムと機能より「ESET Remote Administrator Agent」または「ESET Security Management Agent」のアンインストールを実施後、「5.クライアント端末への展開」より【既存お客様向け】の手順を参照し、クライアント管理を実施してください。

クライアントプログラムについても、最新バージョンへのバージョンアップをご検討ください。

(4) 既に法人向けサーバー・クライアント用製品プログラムを使用。 クラウドオプション(ERA V6.5)で管理を実施

すでにクラウドオプションLiteのERA V6.5をご利用で、ESMC V7にバージョンアップされ た場合には、現在インストール済みのERAエージェントをESMC用エージェント「EMエー ジェント」にバージョンアップする必要があります。

⇒ESMCのタスク機能を利用し、バージョンアップが可能です。

ユーザーズマニュアルよりダウンロード可能な「ESET Security Management Center ユーザーズマニュアル」より「4.1 コンポーネントアップグレードタスク」を実施してく ださい。

※本タスクを実行すると、各クライアントからのネットワーク負荷がかかるため台数 や時間を分けるなど、実行タイミングを分散することを推奨します。



現在ご利用中のクライアントプログラムのバージョン確認方法 ESET 製品をご利用の端末で、クライアント端末にインストールされている ESET

1 製品のバージョンがご不明の場合は、下記 Web ページよりご確認ください。

【プログラムのバージョンの確認方法】 https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/140?site_domain=business

3.6. ライセンス情報・ログイン情報の準備

クラウドオプション Lite を利用するにあたり以下2種類の情報が必要です。お手元にご用 意ください。

(1)ESET ライセンス製品 ライセンス情報

「ESET ライセンス製品」をお申し込みいただいたお客様にメールで、「ESET セキュリ ティ ソフトウェアシリーズ用 ユーザーズサイト ログイン情報のご案内」をお送りして おりますのでご参照ください。

- シリアル番号
- ユーザー名 •

(2)クラウド対応オプション Lite ログイン情報

「ESET クライアント管理 クラウド対応オプション Lite」をお申込みいただいたお客様へ、 ユーザーズサイトの「ライセンス情報」に下記情報を記載しておりますので、ご参照くださ い。

- Web コンソール(管理画面)ログイン用 URL ※下記ユーザーズサイトに記載 •
- •
- •
- 初回ログインパスワード •
- 証明書パスフレーズ •

ESMC サーバー/ERA サーバーの IP アドレス ※下記ユーザーズサイトに記載 ログイン名 ※下記ユーザーズサイトに記載 ※下記ユーザーズサイトに記載 ※下記ユーザーズサイトに記載

下記弊社ユーザーズサイトにて、ライセンス情報や各種プログラム、マニュアルを公開し ております。

ライセンス情報やプログラムの各種設定につきましては、ユーザーズサイトをご参照くだ さい。

- ESET Endpoint Protection シリーズ ユーザーズサイト https://canon-its.jp/product/eset/users/ ※ログイン時に「シリアル番号」、「ユーザー名」が必要です。
- 1. ユーザーズサイトログイン後、「ライセンス情報/申込書作成」をクリックして ください。

※ マニュアルについては、「プログラム/マニュアル」タブよりダウンロードする ことができます。

| Canon キャノン IT ソリューションズ株式会社 | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ESET Endpoint Protection Advanced ユーザーズサイト ログアット (ESETクライアント管理 クラウド対応オプション Lite付き) | | | | | | | | |
| トップ ライセンス情報/申込書作成 プログラム/マニュアル 検出エンジン (ウイルス定義データベース) サポート情報 | | | | | | | | |

- 2. クラウドオプション Lite のライセンス情報、またはログイン情報は、以下をご参照ください。
 - ア)ESET ライセンス製品 ライセンス情報



イ)クラウド対応オプション ログイン情報

| Webコンソールのご利用時や、クライアント端末とクラウド上のクライアント管理用プログラムの接続などに、以下の情報が必要です。 | | | | | | |
|--|---------------------------|--|--|--|--|--|
| 製品名 ESETクライアント管理 クラウド対応オプション Lite 6-24ユーザー用 | | | | | | |
| Webコンソール(管理画面)ログイン用URL | https://: /era/webconsole | | | | | |
| ESMC サーバー/ERA サーバーのIPアドレス | | | | | | |
| ログイン名 | | | | | | |
| 初回ログインパスワード (※) | - | | | | | |
| 証明書パスフレーズ | | | | | | |
| 契約終了日 | 2021年7月20日 | | | | | |

【参考】

ユーザーズサイト「プログラム/マニュアル」より、「最新バージョンをダウンロード」または「プログラム一覧からダウンロード」を選択すると、以下のようなダウンロードページが表示され、各種プログラムやマニュアルのダウンロードが可能です。

| 4.Windows向けクライアント用プログラム | | | | | | | |
|---|----------|------------|----------|----------|----------|---------|--|
| Windows環境でご利用になる場合は、下記のクライアント用プログラムをダウンロードしてください。 | | | | | | | |
| | | | プログ | ブラム | ユーザーズ | 設定に関する | |
| ノロクラム名 | リリースノード | 変更内容 | 64bit | 32bit | マニュアル | 注意事項 | |
| ESET Endpoint Security | [CL-303] | | [CL-304] | [CL-305] | [CL-307] | | |
| (Ver. 7.0.2091.1) | ダウンロード | <u>256</u> | ダウンロード | ダウンロード | ダウンロード | [OT-48] | |
| 【2018.12.19】新バージョン提供開始 | (220KB) | | (141MB) | (136MB) | (24.7MB) | | |
| ESET Endpoint アンチウイルス | [CL-300] | | [CL-301] | [CL-302] | [CL-306] | ダウンロード | |
| (Ver. 7.0.2091.1) | ダウンロード | <u>256</u> | ダウンロード | ダウンロード | ダウンロード | (542KB) | |
| 【2018.12.19】新バージョン提供開始 | (219KB) | | (134MB) | (129MB) | (20.5MB) | | |

.

4. 既存ウイルス対策ソフトのアンインストール【クライアント側作業】

クライアント端末に他社製のウイルス対策ソフトがインストールされている場合は、アン インストールする必要があります。

他社製ウイルス対策ソフトをご利用のお客さまは「他社製ウイルス対策ソフトのアンイン ストール」、に進んでください。

現在、クライアント端末にウイルス対策ソフトがインストールされていない場合は、「5.オ ールインワンインストーラーの作成【管理サーバー側作業】」に進んでください。

・他社製ウイルス対策ソフトのアンインストール

現在、他社製ウイルス対策ソフトをインストールしている端末で、ESET 製品を導入する場合は、必ず他社製ウイルス対策ソフトをアンインストールしてください。 複数のウイルス対策ソフトの併用は、パフォーマンスの低下やトラブルの原因となります。

他社製ウイルス対策ソフトのアンインストール後は、本資料「5.クライアント端末への展開 【管理サーバー側作業】【クライアント端末側作業】」へ進んでください。



他社製ウイルス対策ソフトのアンインストール方法がご不明の場合は、 下記の WEB ページをご参照ください。 【他社製ウイルス対策ソフトのアンインストールについて】 https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/81?site_domain=business

5. クライアント端末への展開【管理サーバー側作業】【クライアント側作業】

クラウドオプション Lite でクライアント管理を行う手順について、【新規お客様向け】また 【既存お客様向け】に以下 2 通りの手順を記載しております。

ご利用状況に応じて、以下を参考にクラウドオプション Lite での管理を開始してください。 Mac、Linux 端末への導入については、「B) Mac、Linux 端末への展開」 をご確認ください。

A) Windows 端末への展開

【新規お客様向け】 【既存お客様向け】 クライアント用プログラムがインストー ルされていない ルされていない <事前準備>HTTP プロキシを経由する場合【管理サーバー側作業】 HTTP プロキシ経由で ESMC へ接続する場合、EM エージェントとクライアントプログ ラムの両プログラムに対して、HTTPプロキシ経由用の設定をポリシーで作成します。 HTTPプロキシを経由しない場合は、下記の手順に進んでください。 A-1-1. オールインワンインストーラーの作成 A-2-1. オールインワンインストーラー 【管理サーバー側作業】 (EM エージェントのみ)の作成 【管理サーバー側作業】 「ESET クライアント用プログラム」と、 「EM エージェント」を一括にインストー ルするオールインワンインストーラーを 「EM エージェント」のみをインストールす るためのオールインワンインストーラーで ESMC で作成します。 オールインワンインストーラー作成後は クライアント端末に配布します。 存成します。 オールインワンインストーラー作成後はク ライアント端末に配布します。 A-2-2. オールインワンインストーラー A-1-2. オールインワンインストーラーの実行 【クライアント側作業】 の実行【クライアント側作業】 インストールが完了すると、クラウドオプション Liteの ESMC と通信が自動的に行われ ンストールが完了すると、 クラウドオプシ ョン Lite の ESMC と通信が自動的に行われ ます。 ます。 7. クラウドオプション Lite で管理ができていることを確認【管理サーバー側作業】

Web ブラウザからクラウドオプション Lite の ESMC にアクセスし、クライアントの 管理状況を確認します。 <事前準備>HTTP プロキシを経由する場合【管理サーバー側作業】

各クライアントが HTTP プロキシを経由してクラウドオプションの ESMC に接続する場合 は、事前に EM エージェントとクライアントプログラムの両プログラムに対して、HTTP プ ロキシ経由用の設定をポリシーで作成します。

HTTP プロキシを経由しない場合は、新規または既存お客様向け手順に応じて、オールイン ワンインストーラー作成に進んでください。

以下に、各プログラムのポリシー作成手順を記載します。

【EM エージェント向け、HTTP プロキシ経由ポリシー作成方法】

1. Web ブラウザより、「**3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備**」で確認した 「Web コンソール(管理画面)ログイン用 URL」にアクセスします。

以下の画面が表示されますので、「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)。」 をクリックします。

| 8 | この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります。 |
|-----|---|
| | この Web サイトで提示されたセキュリティ証明書は、信頼された証明機関から発行されたものではあ りません。 この Web サイトで提示されたセキュリティ証明書は、別の Web サイトのアドレス用に発行されたも のです。 |
| | セキュリティ証明書の問題によって、詐欺や、お使いのコンピューターからサーバーに送信される情報 を盗み取る意図が示唆されている場合があります。 |
| | このページを閉じて、この Web サイトの閲覧を続行しないことを推奨します。 |
| | 🤣 ここをクリックしてこの Web ページを閉じる。 |
| _ [| 😵 このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)。 |
| | ⊙ 詳細情報 |
| ··/ | |

- ※ ここでは、ESET Security Management Center インストール時に作成したセキュリティ証明書を利用しているため、管理画面アクセス時に上記の注意画面が表示されます。
- ※ お使いのブラウザより、表示内容が異なります。

- 「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」で確認した①「ESMC ログイン名」、
 ②「ESMC ログインパスワード」を入力し、③「日本語」を選択して、④「ログイン」をクリックします。
 - ※ 初回ログイン時、また、パスワード有効期限が切れた場合は、画面の指示に従ってパスワード変更を行ってください。また、左下の「パスワード変更」から変更することも可能です。

| es | SECORITY MANAGEMEN | IT CENTER |
|------------------------------|-------------------------------|-----------|
| ログイ | ン | |
| 1 * | | |
| A 155 | -β | |
| 3 • 日本語 | v | |
| | ンユーザーとしてログイン タブでのヤッションを有効化 | |
| (4) ログイン | パスワード変更 | |
| | - | |
| 1.0 | へルブを明く | |

3. 「ポリシー」→「新しいポリシー」をクリックします。



以下を参考に入力し、「続行」をクリックします。
 名前 HTTPプロキシ経由ポリシー(EM エージェント)

| œ | SECURITY MANAGEN | IENT CENTER | C3 ~ 3>22-9-4 | るの検: クイックリ |
|-----|------------------|---------------|---------------------------------|------------|
| | | 新しいポリシー | | |
| ' G | | ポリシー 〉新しいポリシー | | |
| A | | | | |
| | | 基本 | 名前 HTTPプロセン線由ポリシュ (FMエージェント) | |
| | | 8天北 | | |
| | | 割り当て | 説明 | |
| ~ | #U2- | サマリー | HTTPプロキシを経由するためのプロキシ設定 | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | ★ | |
| | | | 反る 統行 終了 キャンセル | |

 「ESET Management Agent」を選択し、「詳細設定」を展開します。 プロキシ設定タイプにて、「グローバルプロキシ」が選択されていることを確認し、 左側アイコンで真ん中の「●」を選択します。 グローバルプロキシの「Edit」をクリックします。

| (CSeT) | SECURITY MANAGEMENT CEI | NTER | 「日マ コンビューター名の検」 クイック | リンクマー③ヘルプマータ |
|----------|--------------------------------------|---|----------------------|--------------|
| | 新しいポリシー ^{ポリシー} 〉 新しいポリシー | | | |
| A | 基本 | ESET Management Agent | | ٩ |
| Ē. | <u>設定</u> 割り当て | 54 E | | 0 • + |
| | サマリー | アップデート | | 0 • + |
| R | | 詳規設定 HTTP7日本シ | | O ● ≠ |
| ् सु- | | ・ | ◎ ≥ 7.0 グローバルプロキシ | |
| > | | ○ ● ∮ グローバリレプロキシ ○ ● ∮ レブリケーション(ESMCサーバーへ) | (@ ≥ 7.0 Edit | |
| | | ○ ● ∮ ESETサービス(アップデート、パッケージ、テレメトリー…) | Edit | |
| | | ウェイクアップコール | | 0 |
| | | | | |

6. 以下の通り入力し、「保存」をクリックします。

| プロキシサーバを使用 | 有効 にする |
|--|-----------------------|
| ホスト | HTTP プロキシサーバーのホスト名または |
| | IP アドレス |
| ポート | HTTP プロキシサーバーのポート番号 |
| ユーザー名 | プロキシ認証に対応していないため設定不可 |
| パスワード | |
| HTTP プロキシが使用できない | 接続する場合は有効にする |
| 場合は直接接続を使用する | |
| HTTPプロキシが使用できない 場合は直接接続を使用する | 接続する場合は有効にする |

| ľ | グローバルプロキシ | ? 🗆 X |
|---|-----------------------------|-------|
| | プロキシサーバを使用 | |
| | ポート | 2 |
| | ユーザー名 | |
| | パスワード | |
| | HTTPプロキシが使用できない場合は直接接続を使用する | |
| Ľ | | _ |
| L | | ッンセル |

7. 「プロキシ設定タイプ」と「グローバルプロキシ」のアイコンが、真ん中の「●」 であることを確認し、「終了」をクリックします。

| eser | SECURITY MANAGEMENT C | ENTER | | クイックリンク マ |
|--------------|--------------------------------------|---|---|-----------|
| | 新しいポリシー ^{ポリシー} 〉 新しいポリシー | | | |
| A | 基本 | ESET Management Agent | | |
| 6 1 | 設定 割り当て サマリー | | | |
| ୍ତ ^ ୍ | | 詳細設定 HTTPプロキシ | | 2 |
| ي. س > | | | (0 ≥ 7.0) グロー/いプロキシ (0 ≥ 7.0) Edit | |
| | | ○ ● ∮ レノリグーンヨンにかいサーバーへ) ○ ● ∮ ESETサービス(アップデート、)(ッケージ、テレメトリー) | (®≥7.0) Edit Edit | |
| | | ウェイクアップコール ○ ● ∲ UDPv4ポート | 1237 | |
| | | O ● ≠ UDPv6ポート | 1238 | |
| | | 互换性 | | |
| | | ○ ● ∮ 古いESET製品のポート | 2225 | |
| • | | 反る 続行 終了 キャンセル | | |

ESET クライアント管理 クラウド対応オプション Lite (7.0)利用手順書

以上で、EM エージェント向け、HTTP プロキシ経由ポリシーの作成は完了です。 本ポリシーは、展開時にインストーラーに組み込むことで適用されます。

続いて、クライアントプログラムが HTTP プロキシを経由するためのポリシーを作成します。

【クライアントプログラム向け、HTTP プロキシ経由ポリシー作成方法】

1. ESMC にログインし、「ポリシー」→「新しいポリシー」をクリックします。

| CSCT | SECURITY MANAGEN | MENT CENTER | | | | | G |
|------|------------------|---|--------|-------|-----|------|---|
| | | ポリシー 🗹 未割り当ての項目を 表示 | ポリシーが運 | 訳されてい | ません | | |
| G | | アクセスグループ 選択 曽 マ | 割り当て先 | 適用中 | 設定 | サマリー | |
| A | | へ // カスタムボリシー | | | | | |
| ลัน | | へ 図 ESET Endpoint for Windows C ウイルス検査 | | | | | |
| Ŀ | | へ ⑧ ビルトインボリシー | | | | | |
| ≞ | | <空榻> | | | | | |
| ۲ | ポリシー | | | | | | |
| я | | | | | | | |
| φ | | | | | | | |
| °r | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | 親いたー・・・ 新しいポリシ | | | | | |

以下を参考に入力し、「続行」をクリックします。
 名前
 HTTPプロキシ経由ポリシー(クライアント)

| 説明 |](任意) | HTTP プロ= | キシを経由するためのプロキシ設定 |
|------------------|------------------|---------------|----------------------------------|
| | | | |
| ese | SECURITY MANAGEM | IENT CENTER | □ マ □ンビューター名の秋 |
| | | 新しいポリシー | |
| <mark>'</mark> 🖵 | | ポリシー >新しいポリシー | |
| A | | | |
| ಷ್ | | 基本 1995年 | 名前 HTTPプロホン級曲ポリシュー (クライ アント) |
| Ŀ | | 割り当て | |
| 8 | インストーラー ポリシー | サマリー | ations HTTPプロキシを経由するためのプロキシ設定 |
| ~ | | | |
| | 通知 | | |
| | ステーラス協会 詳細 > | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | \ |
| | 新りたたみ | | 反る 終行 終了 キャンセル |

 クライアント OS の場合「ESET Endpoint for Windows」、サーバーOS の場合 「ESET File Security for Windows Server(V6+)」を選択し、「ツール」→「プ ロキシサーバ」と展開します。

| (ESPT) | SECURITY MANAGEMENT CE | ENTER | | | |
|----------|-------------------------------------|---------------------------|---|--------------|------|
| | 新しいポリシー ^{ポリシー} >新しいポリシー | | | | |
| A | 基本 | ESET Endpoint for Windows | | Q, | |
| | 1072 | 検出エンジン | - プロキシサーバ | | 0.04 |
| | 割り当て | アップテート | | | 0 |
| | サマリー | ネットワーク保護 | ○ ● ∮ プロキシサーバ | | 0 |
| | | WEBとメール | ○ ● ∮ ポート | 3128 | |
| | | デバイスコントロール | | | |
| | | 97-0. | ・ グロキシサーバは認定が必要 | | 0 |
| | | | ○ ● ∮ ユーザー名 | | 0 |
| | | コクファイル プロキシサーバ | ○ ◎ 彡 パスワード | | 0 |
| | | 電子メール通知 | - | パスワードの表示 | |
| | | プレゼンテーションモード 2019 | ○ ● ∮ プロキシが使用できない場合は置換額 使用する | 意在 ⑧ 2 6.4 / | |
| | | ユーザーインターフェース | | | |
| | | 上書さモード | | | |
| | | | | | |
| ۳ | | 展る 統行 約7 | キャンセル | | |

4. 以下の通り入力します。

•

| プロキシサーバを使用 | 有効 にする |
|------------------|-----------------------|
| プロキシサーバ | HTTP プロキシサーバーのホスト名または |
| | IP アドレス |
| ポート | HTTP プロキシサーバーのポート番号 |
| プロキシサーバは認証が必要 | プロキシ認証に対応していないため設定不可 |
| ユーザー名 | |
| パスワード | |
| HTTP プロキシが使用できない | 接続する場合は有効にする |
| 場合は直接接続を使用する | |

| (1997) SECURITY MANAG | EMENT CENTER | □ マ □ンピューター名の検 | クイックリンク マ ② ヘルプ マ ぷ A1UYKU1939 | ⊡ × 1 |
|--------------------------|------------------------------|--------------------------|--------------------------------|-------|
| 新しいポリシー ボリシー > 新しいポリシ | | | | |
| ▲ 基本 | ESET Endpoint for Windows | | Q | |
| | 検出エンジン | = ブロキシサーバ | 0 | • + |
| 割り当て | アップデート | ○ ● ∮ プロキシサーバを使用 | | 0 |
| 0 | ネットワーク保護 | ○ ● ∮ プロキシサーバ | | 0 |
| | WEBとメール | ○ ● ∮ ポート | 3128 | |
| 5- 5- | デバイスコントロール | ○ ● ∮ プロキシサーバは認証が必要 | x | 0 |
| | ツール 🔳 | ○ ● ∮ ユーザー名 | | 0 |
| | ログファイル プロキシサーバ モデメール通知 | 0 ⊕ ∮ /(スワ-ド | パスワードの表示 | 0 |
| | プレゼンテーションモード 診断 | ○ ● ∮ プロキシが使用できない場合は直接接続 | を使用する 📵 2 6.4 🗸 | |
| | ユーザーインターフェース | | | |
| | 上書きモード | | | |
| - | 展る 統行 親子 年 | ヤンセル | | |

5. 「プロキシサーバを使用」「プロキシサーバ」「ポート」のアイコンが、真ん中の「●」 であることを確認し、「終了」をクリックします。

| eser | SECURITY MANAGEMENT CEN | ITER | 「ロマ コンピューター名の検 | 9459529⊽ ® ∿ILJ⊽ & AluyKules | ₽ 🖂 > 1459 |
|----------|--------------------------------------|-------------------------------------|--|------------------------------|------------|
| | 新しいポリシー ^{ポリシー} > 新しいポリシー | | | | |
| A | 基本 設定 | ESET Endpoint for Windows | | ٩ | ? |
| | 割り当て サマリー | (株用エンシン アップデート | ○ ● ∮ プロキシサーバを使用 ○ ● ∮ プロキシサーバを使用 | | 0 |
| Å o | | ネットワーク保護 WEBとメール | 0 • 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 | 3128 | 0 |
| °- > | | デバイスコントロール ツール 3 |) ● ∮ ブロキシサーバは認知が必要 ○ ● ∮ ユーザー名 | | 0 |
| | | ログファイル プロキシサーバ (5) | 0 0 4 JQ7-F | パスワードの表示 | 0 |
| | | NET メールMathin プレゼンテーションモード 診療 | ○ ● ∮ プロキシが使用できない場合は直接接続を(| 使用する (色 2 6.4) / | |
| | | ユーザーインターフェース 上書きモード | | | |
| • | | スる (約5) (本1 | | | |

 $22 \, / \, 61$

以上で、クライアントプログラム向け、HTTP プロキシ経由ポリシーの作成は完了です。 本ポリシーは、展開時にインストーラーに組み込むことで適用されます。

続いて、新規、もしくは、既存環境に応じて、オールインワンインストーラーの作成・実行 に進んでください。



ポリシーの作成について、詳細は以下 Web ページもご参考ください。 【ESET Security Management Center V7.0 を利用して、新しいポリシーを作 成する手順】 https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/11854?site_domain=business A-1-1. オールインワンインストーラーの作成【管理サーバー側作業】

クラウドオプションでクライアントの管理を行うためには、ESET クライアント用プログラ ムに加えて、ESET Management Agent (以降 EM エージェント)のインストールが必要 です。管理サーバーでは、EM エージェントと ESET クライアント用プログラムを一つにま とめたインストーラーパッケージ「オールインワンインストーラー」を作成することができ ます。

以下に、オールインワンインスト―ラーの作成手順を記載します。

1. Web ブラウザより、「**3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備**」で確認した 「Web コンソール(管理画面)ログイン用 URL」にアクセスします。

以下の画面が表示されますので、「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)。」 をクリックします。

| 8 | この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります。 |
|-----|---|
| | この Web サイトで提示されたセキュリティ証明書は、信頼された証明機関から発行されたものではあ りません。 この Web サイトで提示されたセキュリティ証明書は、別の Web サイトのアドレス用に発行されたも のです。 |
| | セキュリティ証明書の問題によって、詐欺や、お使いのコンピューターからサーバーに送信される情報 を盗み取る意図が示唆されている場合があります。 |
| | このページを閉じて、この Web サイトの閲覧を続行しないことを推奨します。 |
| | |
| - F | 😵 このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)。 |
| | 詳細情報 |

- ※ ここでは、ESET Security Management Center インストール時に作成したセ キュリティ証明書を利用しているため、管理画面アクセス時に上記の注意画面 が表示されます。
- ※ お使いのブラウザより、表示内容が異なります。

- 3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」で確認した①「ESMC ログイン名」、
 ②「ESMC ログインパスワード」を入力し、③「日本語」を選択して、④「ログイン」をクリックします。
 - ※ 初回ログイン時、また、パスワード有効期限が切れた場合は、画面の指示に従ってパスワード変更を行ってください。また、左下の「パスワード変更」から変更することも可能です。

| (eset) SECURITY MANAGEMEN | IT CENTER |
|---|-----------|
| ログイン ① | |
| 2 | |
| 3 日本語 | |
| ドメインユーザーとしてログイン | |
| マルチタブでのセッションを有効化 (4) ロルイン・ パスワード変更 | |
| | |
| A 11-77-88/ | |

 「インストーラー」→「インストーラーの作成」→「オールインワンインストー ラー」をクリックします。

| eser | SECURITY MANAG | EM | ENT | CENTER | | | | |
|----------|----------------|-----|-------|------------------------|----------------|-----------|----------|---|
| | | ^ | イン | ストーラー | アクセス | ブループ 選択 自 | フィルタの追加 | |
| 묘 | | | | 名前 | | | タイプ | 製 |
| | 脅威 | | | ESET Endpoint Se | ecurity (ja_JP |) | オールインワン | |
| , sector | | I | | | | | | |
| Þ | | | | | | | | |
| | インストーラー | | | | | | | |
| ٢ | | | | | | | | |
| 8 | | L | | | | | | |
| Φ | | | | | | | | |
| ዮ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | Ir. | | | | 1 | | |
| | | P | オール・ | インワンインスト- エントライブインフ | -ラー (トーラー | | | |
| | | Ŀ. | GPOま) | たは scc ルスクリフ | ŕ⊦ | | | |
| | | 2 | | | | | 7/22-22- | |
| < | | | 1, | | ···· · · | 9990-F V | | |

「セキュリティ製品+エージェント」を選択します。
 製品にて、すでに設定されているクライアント用プログラムをクリックします。
 ※ 既定で設定されている製品は、登録したライセンスにより変わります。

| eser | SECURITY MANAGEN | MENT CENTER | | | | | | |
|-------------|---|---------------------------------------|------------------------|--|---|-----------------------------|---|--|
| | | オールインワンインストーラ インストーラー 〉オールインワンインスト | 一の作成 ヽーラーの作成 | | | | | |
| ▲ … … | 角減 レポート クライアント9スク インストーラー ポリシー コンピュータユーザー 差回 ステータス概要 詳細 > | ▲ 製品 証明書 ▲ 詳細 タウンロード | | ラムに参加する ッシュレポート、およびOSパージョ) 他の裏品層構の情報といった面名のう す。 ジエント iows (Windows 10, 8, 7, Vista)の/(-3) バローゼー使用許諾提約の条項に同 ・バコーゼー使用許諾提約の条項に同 ・バコーゼー使用許諾提約の条項に同 ・バコーゼー使用許諾提約の条項に同 ・バコーゼー使用許諾提約の条項に同 ・バコーゼー使用許諾提約の条項に同 | ンやタイプ、EST電品 Fレメトリーデータを ジョン70.2091.1、言語)。J 寝し、 <u>プライパミーポリ3</u> | P シーを確認します。 am (east- | × | |
| | | | 戻る続行 | 終了キャンセル | | | | |

5. インストールしたいクライアント用プログラムを選択して、「OK」ボタンをクリックします。

| 項目を選択してください | | | | | | | |
|-----------------|---------------------------------|-------------|---------|----------------|-------|-------------------|-----------|
| レガシー 目 | | レタの追加してリ | セット マ | | | | |
| ソフトウェアフ | 製品名 | ⇒ バージョン | OSタイプ | 05 | 當語 | 変更ログ | EUL 🕲 |
| ESET Server Sec | ESET File Security for Microsof | 7.0.12016.1 | windows | Windows Server | ja_JP | http://repository | http://re |
| ESET Endpoint S | ESET Endpoint Antivirus | 7.0.2091.1 | windows | Windows 10, 8, | ja_JP | http://repository | http://re |
| ESET Endpoint S | ESET Endpoint Security | 7.0.2091.1 | windows | Windows 10, 8, | ja_JP | http://repository | http://re |
| ESET Endpoint S | ESET Endpoint Antivirus | 6.6.2089.1 | windows | Windows 10, 8, | ja_JP | http://repository | http://re |
| ESET Endpoint S | ESET Endpoint Security | 6.6.2089.1 | windows | Windows 10, 8, | ja_IP | http://repository | http://re |
| ESET Server Sec | ESET File Security for Microsof | 6.5.12018.0 | windows | Windows Server | ja_JP | http://repository | http://re |
| ESET Server Sec | ESET File Security for Microsof | 6.5.12014.1 | windows | Windows Server | ja_JP | http://repository | http://re |
| ESET Endpoint S | ESET Endpoint Antivirus | 6.5.2132.2 | windows | Windows 10, 8, | ja_JP | http://repository | http://re |
| ESET Endpoint S | ESET Endpoint Security | 6.5.2132.2 | windows | Windows 10, 8, | ja_JP | http://repository | http://re |
| ESET Endpoint S | ESET Endpoint Security | 6.5.2123.8 | windows | Windows 10, 8, | ja_JP | http://repository | http://re |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | 1 | |
| < | | | | | | | > |
| | | | | | | ок # 72 | 191 |

- 6. ①「アプリケーションエンドユーザー使用許諾契約に同意します」に**チェック** を入れます。
 - ②「日本語」が選択されていることを確認します。
 - ③「ライセンス(任意)」にライセンスが登録されていることを確認します。
 - ④「続行」をクリックします。

| (ese | SECURITY MANAGEN | IENT CENTER | | | | | 📑 > 14分 |
|--|---|--|----------------------------------|---|-------------------|---|---------|
| | | オールインワンインストーラー インストーラー 〉オールインワンインストー | の作成 ラーの作成 | | | | |
| , , , , , , , , , , | Rit Rit クライアントタスク インストーラー ポリシー コンピュータユーザー 差定 ステータス概要 詳細 〉 | ▲ 翻過 証明書 ▲ 詳編 タウンロード ① ② 3 | | ンやタイプ、EST製品 Fレメトリーデータを ジョン70.2001.1、冒機 _取 」 違し、プライパシーポリジ | . <u></u> を確認します。 |] | |
| E | 折りたたみ | | 後7 年ヤンゼル | | | | |

- 7. ①「ESMC証明書」が選択されていることを確認します。
 - ② ESMC 証明書に証明書が登録されていることを確認します。
 ③「証明書パスフレーズ」には、「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」 で確認した「証明書パスフレーズ」を入力します。
 - ④「続行」をクリックします。

| eser | SECURITY MANAGEMENT CENTER | □□ マ □ンピューター名の検 | クイックリンク マ | ◎ ヘルプ マ | 우 A1UYKUJ@99 | l∃ > 14 53 |
|---------------------------------|--|-----------------|-----------|---------|--------------|-----------------------|
| | オールインワンインストーラーの作成 インストーラー 〉オールインウンインストーラーの作成 | | | | | |
| ▲ 31 2 1 © ~ ⇒ | 製品 ビア延期書 ご EMG道明書 オスタム道明書 ケンワード CSMC道明書 | | | | | |
| > | 経明型パスフレーズ ◎ ③ 単明型パスフレーズ ◎ | | 1 | | | |
| e | (後行) (約7) 年17 | ンセル | | | | |

名前を入力します。
 ※ 説明の入力は任意です。

| (CSET) | SECURITY MANAGEMENT | CENTER | クイックリンク マ | の へいプ |
|-------------|------------------------------------|---|-----------|-------|
| ^ 1 | オールインワンインストー インストーラー 〉オールインワンイン | ラーの作成 ストーラーの作成 | | |
| ▲ ≝ ₽ | 製品 証明書 ▲ 詳細 ダウンロード | ▲ 名前 説明 | | |
| ତ ଦ ୯ | | 親グループ(任意) 違択 新しい静吟グループ- ESET AV Removerを有効にする | | |
| • | | インストーラーの初期設定 i 組み込んだ初期設定は締約グループに適用されたポリシーで置換されます。 戻る 旅行 キャンセル | | |

9. 「親グループ(任意)」では、[選択]をクリックし、ご利用開始時に提供されている既定のグループを必ず選択してください。



| オールインワンインストーラーの作成 1ンストーラー 〉オールインワンインストーラーの作成 ▲ 名前 | eser | SECURITY MANAGEMENT C | ENTER | |
|--|------|---|--|--|
| ▲ | | オールインワンインストー インストーラー > オールインワンインス | ラ ーの作成 トーラーの作成 | |
| all 明書 A 詳細 タウンロード A ジンロード A ジンロード A ジンロード A ジンロード A ジンロード A ジンロード A ジループ(任意) 選択 近児 ft しい静的グループ ESET AV Removerを有効にする Tンストーラーの初期設定 | | 製品 証明書 ▲ 詳細 ダウンロード | ▲ 名前 説明 親グループ(任意) 選択 新しい時的グループ_ ESET AV Removerを有効にする インストーラーの初期設定 | |

10. [ESET AV Remover を有効にする]に**チェックが入っていない**ことを確認しま す。チェックが入っていた場合は外してください。

| | 製品 証明書 ▲ 詳親 | 親グループ(任意) /すべて(A001-99/新しい静的グループ × 新しい静的グループ_ |
|----------------|-------------------|--|
| , द ् २ © 1 | ダウンロード | ESET AV Removerを有効にする |
| | | 設定テンプレート 設定しない ポリシーのリストから設定を選択 サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス) In-172-31-28-178 an exotheast 1 compute internal |
| | | m m m L 2222 L |
| • | | 戻る 歳行 降了 キャンセル |

11. インストーラーの初期設定」の「設定テンプレート」では、以下を参考に設定 します。

| 設定しない | 既定の設定から変更せずに、クライアント端末 にインストールする場合 |
|---------------------|--|
| ポリシーのリストから 設定を選択 | 既存のポリシーを適用させて、クライアント端 末にインストールする場合 ※HTTPプロキシを経由する場合はこちらを選 択します。 |

| | ▲ 製品 | 親グループ(任意) |
|------|--------|--------------------------------------|
| สม | 証明書 | 選択 |
| | ▲ 詳細 | 新しい静的グループ」 |
| ø | ダウンロード | ESET AV Removerを有効にする |
| 8 | | |
| φ | | インストーラーの初期設定 |
| γ. | | 1 組み込んだ知識時常は協称グリーブに適用されたポリシーで環境されます。 |
| ~~ > | | |
| | | 設定テンプレート |
| | | |
| | | サーハールスト名(またはサーハーの)アクドレス) |
| | | |
| | | ポート |
| | | 2222 |
| | | |
| - | | 戻る 続行 終了 キャンセル |



新しいポリシーを作成する場合は、下記の WEB ページをご参照ください。 【ESET Security Management Center V7.0 を利用して、新しいポリシーを作成する手順】 https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/11854?site_domain=business 12. 手順 11 で「ポリシーのリストから設定を選択」を選択した場合は、以下を参 考に、「選択」をクリックし、EM エージェントとクライアント用プログラムに 適用したいポリシーを選択して「OK」ボタンをクリックします。

| エージェントの設定 (任意) | クライアント端末にインストールする EM エージェントにポリシーを適用する場合に設定 |
|--------------------|---|
| | ※HTTP プロキシを経由する場合は、<事前準備 >HTTP プロキシを経由する場合で作成した 「HTTP プロキシ経由ポリシー(EM エージェント)」を選択します。 |
| セキュリティ製品設定 (任意) | クライアント端末にインストールするクライアン ト用プログラムにポリシーを適用する場合に設定 |
| | ※HTTP プロキシを経由する場合は、<事前準備 >HTTP プロキシを経由する場合で作成した 「HTTP プロキシ経由ポリシー(クライアント)」 を選択します。 |



- 13. ①「サーバーホスト名(またはサーバーの IP アドレス)」に「**3.6.ライセンス情** 報・ログイン情報の準備」で確認した「ESMC サーバー/ERA サーバーの IP ア ドレス」を入力してください。
 ② [ポート]にポート番号 [2222] が入力されていることを確認します。

 - ③「終了」をクリックします。

| A | |
|----------|--------------------------------------|
| タウンロード | ESET AV Removerを有効にする |
| | |
| ~ | |
| | インストーラーの初期設定 |
| ų, | |
| | 1 組み込んだ初期設定は解的グルーブに適用されたポリシーで置換されます。 |
| | |
| | BRET JJV-F |
| | |
| | ○ ポリシーのリストから設定を選択 |
| | サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス) |
| | (1) |
| | |
| | ボート |
| | 2 2222 |
| | |
| | |
| | 反る 前行 3 様子 キャンセル |
| | |

14. インストールするクライアント端末の環境にあわせて、[32bit 版をダウンロード]または「64bit 版をダウンロード」をクリックします。

| eser | SECURITY MANAGEMENT C | ENTER | □ マ □ンピューター名の検 | ₽_ ©_ × ⊟ |
|---------------|--------------------------------------|----------------------------|----------------|-----------|
| | オールインワンインストー: インストーラー >オールインワンインス | ラ <i>ーの作成</i> トーラーの作成 | | |
| ▲ ≈ | 의료 0 표명총 | 3254頃をダウンロード 64bit頃をダウンロード | | |
| 1 1 0 | 詳細 ダウンロード | | | |
| A 0 | | | | |
| ~~~ > | | | | |
| | | | | |
| ۲ | | 展る 総行 後7 間じる | | |



ご利用のネットワーク環境によって、オールインワンインストーラーのダウンロード に時間がかかる場合があります。 プログレスバーが動かない場合でも、プログラムのダウンロードを行っていますの で、しばらくお待ちください。

- 15. ファイルの保存を促す画面が表示されたら、任意の保存先を指定してインストーラーを保存します。
 - ※ ファイル名は、32bit 用のオールインワンインストーラーの場合 「ESMC_Installer_x86_ja_JP.exe」、64bit 用のオールインワンインス トーラーの場合「ESMC_Installer_x64_ja_JP.exe」です。

| | リポジトリからインストーラーをダウンロ ラーを準備しています 売了 | ードしてオールインワンインストー 開じる | × | |
|---|---|-------------------------|---|---------|
| ESMC_Installer_x64_ja_JP.exe (20 い。 場所: | 5 MB) について行う操作を選んでくださ | 実行保存 | | キャンセル × |

16. 以下の画面が表示されたら、「実行しない」を選択してください。



17. 終了したら「閉じる」ボタンをクリックします。

| | Х |
|---|---|
| リポジトリからインストーラーをダウンロードしてオールインワンインストー ラーを準備しています 完了 | |
| | |
| 閉じる | |

以上でオールインワンインストーラーの作成は完了です。 手順 15 で指定した場所に、オールインワンインストーラーが保存されていることを確認 し、クライアントに配布してください。 A-1-2. オールインワンインストーラーの実行【クライアント側作業】

オールインワンインストーラーを各クライアント端末上で実行し、EM エージェントと ESET クライアント用プログラムをインストールします。

以下にオールインワンインストーラーの実行手順を記載します。

1. オールインワンインストーラーを右クリックより、「管理者として実行」をクリ ックします。

| ESMC_I | 開<(O) | |
|--------|--|--|
| 4.ja | ● 管理者として実行(A) 互換性のトラブルシューティング(Y) スタートにピン留めする(P) ● Windows Defender でスキャンする レウ 共有 | |
| | アクセスを許可する(G) タスク パーにピン留めする(K) 以前のパージョンの復元(V) | |
| | 送る(N) > 切り取り(T) コピー(C) | |
| | ショートカットの作成(S) 削除(D) 名前の変更(M) | |
| | プロパティ(R) | |

2. 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックします。

| ューザー アカウント制御 この不明な発行元からのア 加えることを許可しますか? | × プリがデバイスに変更を |
|--|------------------|
| ESMC_Installer_x64_ja_JP.e 発行元: 不明 ファイルの入手先: このコンピューター. 詳細を表示 | xe 上のハード ドライブ |
| はい | いいえ |

3. 以下の画面が表示され、アプリケーションが起動します。



4. 「続行」ボタンをクリックします。

| | | - × |
|-------------------------------------|--|-----|
| PACKAGE | コンポーネントのインストール | ? |
| ようごそ ようごそ インストール 完了 | このコンピューターはリモートで管理されます サール・-: ヴルーブ・グルーブが選択されていません ライセンス: | |
| | COインストーラーには次のコンポーネントが含まれます ESET Management Agent 7.0.579.0 構成: 設定が選択されていません ESET Endpoint Security 7.0.2091.1 構成: 設定が選択されていません | |
| | | |
| | 続行 | |

5. 「保護の設定」画面で、以下を参考に設定し、「インストール」ボタンを クリックします。

| ESET LiveGrid | チェックを入れると、本プログラムが新しい脅威を |
|---------------|----------------------------|
| フィードバックシステ | 発見した場合に ESET 社へその情報を提出します。 |
| ムを有効にする | |
| 望ましくない可能性の | 望ましくないアプリケーションの検出有無を選択し |
| あるアプリケーション | ます。 |
| の検出 | ※ ESET 製品は「不審なアプリケーション」を |
| | 「望ましくない可能性のあるアプリケーショ |
| | ン」として検出します。 |

| | - | \times |
|-----------------------------------|--|--------------------------------------|
| PACKAGE | 保護の設定 | ? |
| INSIALLER ようごそ インストール 完了 | さらに強化されたセキュリティを実現できるように支援してください。 ESET LiveGrid®フィードバックシステムでは、世界中の1億以上のセンサーを使用します。これにより、ESE なオブジェクトの情報を収集できます。これは自動的に処理され、ESETのクラウドレビュテーションシステム カニズムを作成します。これらはただちに適用され、ESETユーザーが最大レベルの保護を得られることを保 す。 ✓ ESET LiveGrid®フィードバックシステムを有効にする(推奨) 望ましくない可能性があるアプリケーションの検出 ESETは望ましくない可能性のあるアプリケーションを検出し、インストールする前に確認を求めることができ ましくない可能性のあるアプリケーションを検出し、インストールする前に確認を求めることができ ましくない可能性のあるアプリケーションを検出し、インストールする前に確認を求めることができ ましくない可能性のあるアプリケーションを検出し、インストールする前に確認を求めることができ ましくない可能性のあるアプリケーションを検出し、インストールする前に確認を求めることができ ましくない可能性があるアプリケーションの検出とまずの間を要求します。 ● 望ましくない可能性があるアプリケーションの検出 ● 不審なアプリケーションの検出を無効にする | 1が不審 で検出メ 証しま こフォーマ 影性のあ |
| | インストール インストールフォルダの | の変更 |

6. 「インストール成功」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリックして ください。



7. タスクトレイの ESET アイコンをダブルクリックし、ESET のメイン画面が 開きます。



8. 「アップデート」より、検出エンジンのアップデートが自動で開始され、「前回 の成功したアップデート」に現在の時刻が入っていることを確認してください。 ※初回アップデートが完了すると、コンピュータの検査が開始いたします。

| | гү | - = × |
|-------------------------------------|---|--------------------------|
| ✔ 現在の状況 | アップデート | ? |
| | ESET Endpoint Security | |
| ○ アップデート | ▼ 現在のバージョン: | 7.0.2091.1 |
| ✿ 設定 | 前回の成功したアップデート: | 2019/02/20 16:44:37 |
| 童 ツ−ル | 前回のアッファートの確認口時: すべてのモジュールを表示 | 2013/02/20 10:44:57 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| ENJOY SAFER TECHNOLOGY ^M | | ○ 最新版のチェック ● アップデート頻度の変更 |

※本画面は、ESET Endpoint Security V7 のものです。

以上でオールインワンインストーラーの実行は完了です。 続いて「6. クラウドオプション Lite で管理ができていることを確認」に進んでください。

【既存お客様向け】

A-2-1. オールインワンインストーラー(EM エージェントのみ)の作成 【管理サーバー側作業】

クラウドオプション Lite でクライアントの管理を行うためには、EM エージェントのイン ストールが必要です。すでに、クライアント用プログラムをご利用の方は ESMC で作成し た EM エージェントインストール用の exe ファイルを実行することでクラウドオプション Lite で管理を行うことが可能です。

以下に、オールインワンインストーラー(EM エージェントのみ)の作成手順を記載します。

1. Web ブラウザより、「**3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備**」で確認した 「Web コンソール(管理画面)ログイン用 URL」にアクセスします。

以下の画面が表示されますので、「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)。」 をクリックします。

| × | この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります。 |
|----|---|
| | この Web サイトで提示されたセキュリティ証明書は、信頼された証明機関から発行されたものではあ |
| | りません。 この Web サイトで提示されたセキュリティ証明書は、別の Web サイトのアドレス用に発行されたも のです。 |
| | セキュリティ証明書の問題によって、詐欺や、お使いのコンビューターからサーバーに送信される情報 を盗み取る意図が示唆されている場合があります。 |
| | このページを閉じて、 この Web サイトの閲覧を続行しないことを推奨します。 |
| | 🤣 ここをクリックしてこの Web ページを閉じる。 |
| -[| 😵 このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)。 |
| | · · · · · · · · |
| | |

- ※ ここでは、ESET Security Management Center インストール時に作成したセ キュリティ証明書を利用しているため、管理画面アクセス時に上記の注意画面 が表示されます。
- ※ お使いのブラウザより、表示内容が異なります。

「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」で確認した①「ESMC ログイン名」、
 ②「ESMC ログインパスワード」を入力し、③「日本語」を選択して、④「ログイン」をクリックします。

| ログイン | |
|---|--|
| | |
| ③ • 日本語 • | |
| ドメインユーザーとしてログイン マルチタブでのセッションを有効化 | |
| ④ ログイン パスワード変更 | |

5. 左メニューより、「インストーラー」→「インストーラーの作成」→「オールインワンインストーラー」をクリックします。

| ese | SECURITY MANAGEN | IENT CENTER | | | | | 9. |
|---------|------------------|------------------|----------------------|---------|---------|----------------|----|
| | | インストーラー | アクセスグループ 選択 會 | フィルタの追加 | プリセット マ | | |
| 교 | | 名前 | | タイプ | 8665 | | 75 |
| A | | | | | | 使用できるデータがありません | - |
| ñi | | | | | | | |
| D | | | | | | | |
| ≞ | インストーラー | | | | | | |
| ٢ | | | | | | | |
| ~ | | | | | | | |
| <u></u> | | | | | | | |
| r | ステータス概要 | | | | | | |
| | ### > | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | H-ILANDANA L | - | | | | |
| | | エージェントディブイン | ストーラー | | | | |
| | | GPOまたは SCC Mスクリン | ブト | | | | |
| Ð | 折りた~3 | インストーラーの作品 | ¢. マ ダウンロード マ | アクション マ | | | |

- 4. ① 「エージェントのみ」を選択します。
 - ②「アプリケーションエンドユーザー使用許諾契約に同意します」にチェック
 を入れます。
 ③「ゲイニューケー・ティー・ティー・
 - ③「続行」をクリックします。

| ESET | SECURITY MANAGEMENT CENTER | レンビューター名 |
|-----------------------|---|----------|
| | オールインワンインストーラーの作成 インストーラー 〉オールインワンインストーラーの作成 | |
| ▲ 3 8 8 8 8 8 × × × × | X品 X品 X目前 F Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y | |
| ۵ | (3) 報行 単ひンせん | |

- 5. ①「ESMC証明書」が選択されていることを確認します。
 - ② ESMC 証明書に証明書が登録されていることを確認します。
 ③「証明書パスフレーズ」には、「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」
 - で確認した「証明書パスフレーズ」を入力します。
 - ④「続行」をクリックします。

| eser | SECURITY MANAGEMENT CE | NTER G v I J K |
|-----------------------|---------------------------------------|-----------------------------|
| | オールインワンインストーラ インストーラー 〉オールインワンインスト | ーの作成 ^{、ーラーの作成} |
| ▲ ™ ∎ © × | 製品 雇用書 ① ▲ 詳細 ダウンロード ② | ビア証明書 |
| > | 3 | 証明書パスフレーズ ③ 正明書パスフレーズを表示 |
| Ø | _ | 載7 単7>セル |

名前を入力します。
 ※説明の入力は任意です。

| eser | SECURITY MANAGEMENT C | ENTER | ⊊1 ⊽ = |
|---------------------------------|---|---|----------|
| | オールインワンインストーラ インストーラー 〉オールインワンインス | ラーの作成 ストーラーの作成 | |
| ▲ ₩ 2 1 © < * * | 製品 証明書 詳細 ダウンロード | 名前 ESET Endpoint Security (ja_JP) 説明 パノループ(任意) 選択 軽しい時やグループ ESET AV Removerを有効にする ・ <l< th=""><th></th></l<> | |
| æ | | 戻る 統行 終了 キャンセル | |

7. 「親グループ(任意)」では、[選択]をクリックし、ご利用開始時に提供されている既定のグループを必ず選択してください。(P28 参照)

| (CSeT) | SECURITY MANAGEMENT CE | NTER | | |
|--------------------------|---|--|----|---|
| | オールインワンインストーラ インストーラー 〉オールインウンインスト | 一の作成 ラーの作成 | | |
| ▲ ☆ E E E © < ^ > > → | 記品 正明書 評細 ダウンロード | 名前 ESET Endpoint Security ()a_J 説明 親グループ(任意) 潮訳 新しい説的グループ。 ESET AV Removerを有効に コープンストーラーの | P) | |
| | | | | 2 |

8. [ESET AV Remover を有効にする]に**チェックが入っていない**ことを確認しま す。チェックが入っていた場合は外してください。

| eser | SECURITY MANAGEMENT CEI | NTER G v J>22-5 | |
|---------------------------|--|--|--|
| | オールインワンインストーラ・ インストーラー 〉オールインワンインスト | ーの/作成 | |
| ▲ 1 8 8 8 8 0 × ° ▷ · · > | 製品 証明書 詳細 ダウンロード | 親グループ(任意) 選択 新しい頃的グループ ESET AV Removeを有効にする エンストーラーの初期設定 オンストーラーの初期設定 (1) あれらんだ切用設定は静的グループに適用されたポリシーで置換されます。 設定アンプレート ② 認むしない オリシーのリストから協定を選択 サーバーホスト名(またはサーバーの)IPアドレス) 水ート 2222 | |
| ۲ | | 反る 続行 終行 キャンセル | |

9.「インストーラーの初期設定」の「設定テンプレート」では、以下を参考に設定します。

| 設定しない | 既定の設定から変更せずに、クライアント端末 にインストールする場合 |
|---------------------|--|
| ポリシーのリストから 設定を選択 | 既存のポリシーを適用させて、クライアント端 末にインストールする場合 ※HTTP プロキシを経由する場合は、こちらを選 択します。 |

| x 0 | インストーラーの初期設定 |
|---------------|---|
| °≁ … > | i 組み込んだ初期設定は静的グループに適用されたポリシーで置換されます。 |
| | 設定テンプレート |
| | ■ ポリシーのリストから設定を選択 サーハーホスト名(またはサーハーの)Pアドレス) |
| | |
| | 2222 |
| ۲ | 反る 続行 終了 キャンセル |

10. 手順9で「ポリシーのリストから設定を選択」を選択した場合は、以下を参考 に、「選択」をクリックし、EMエージェントのポリシーを選択して「OK」ボタ ンをクリックします。

| エージ: (任意) | こントの設定 | クライアント端末にインストールする EM エージェントにポリシーを適用する場合に設定 ※HTTP プロキシを経由する場合は、〈事前準備 >HTTP プロキシを経由する場合で作成した 「HTTP プロキシ経由ポリシー(EM エージェン ト)」を選択します。 |
|--------------|---|--|
| | SECURITY MANAGEMENT C オールインワンインストー: インストーラー 〉オールインウシインス 製品 調査 評価 ダウンロード | ENTER こ - の作成 (トーラーの作成 トーラーの作成 第20 第20 第20 第20 第20 第20 第20 第20 |
| | | 米一ト 2222 |

11. ①「サーバーホスト名(またはサーバーの IP アドレス)」に「**3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備**」で確認した「ESMC サーバー/ERA サーバーの IP アドレス」を入力してください。

政? キャンセル

②「ポート」にポート番号「2222」が入力されていることを確認します。

英る総行

③「終了」をクリックします。

| | 観話 | 1 | モしい 猫のグループ |
|--------|--------|-------|----------------------------------|
| 5 | 証明書 | ESE | TAV Removerを有効にする |
| | 計制 | | |
| 0 | ダウンロード | 1 | ンストーラーの初期設定 |
| ۸ ن | | i 組み | 込んだ原則度定は幹約ジループに適用されたポリシーで置換されます。 |
| 8- | | 333 | ビアンプレート |
| > | | | 第第しない |
| | | 0 | ポリシーのリストから設定を選択 |
| | | 1- | -ジェント設定(任意) |
| | | 38.00 | |
| | | サ- | -バー水スト名(またはサーバーのIPアドレス) |
| | | 1) | |
| | | ボ- | - N |
| | | 2 22 | 222 |
| ۵ | | | R5 R17 3 R7 47>204 |

12. インストールするクライアント端末の環境にあわせて、[32bit 版をダウンロード] または「64bit 版をダウンロード」をクリックします。

| œer | G SECURITY MANAGEMENT CENTER | | | | |
|-----|------------------------------|--|---------------------------|--|--|
| | オールインワンインストーラーの作成 | | | | |
| 돠 | インストーラー 〉 オールインワンインストーラーの作成 | | | | |
| A | | | | | |
| _ | 親品 | | 3254銀をダウンロード 6454銀をダウンロード | | |
| | 証明書 | | | | |
| E . | 詳細 | | | | |
| | ダウンロード | | | | |
| 8 | | | | | |
| ~ | | | | | |
| 0 | | | | | |
| 8- | | | | | |

- 13. ファイルの保存を促す画面が表示されたら、任意の保存先を指定してインストーラーを保存します。
 - ※ ファイル名は、32bit 用のオールインワンインストーラーの場合 「ESMC_Installer_x86.exe」、64bit 用のオールインワンインス トーラーの場合「ESMC_Installer_x64.exe」です。

| | × リボジトリからインストーラーをダウンロードしてオールインワンインストー ラーを滞着しています 売了 |
|---|--|
| | |
| ESMC_Installer_x86.exe (64.3 MB) 場所: { | について行う操作を選んでください。 実行 保存 ヘ キャンセル × |



ご利用のネットワーク環境によって、オールインワンインストーラーのダウンロード に時間がかかる場合があります。 プログレスバーが動かない場合でも、プログラムのダウンロードを行っていますの で、しばらくお待ちください。 14. 以下の画面が表示されたら、「実行しない」を選択してください。



15. 終了したら「閉じる」ボタンをクリックします。

| | Х |
|---|---|
| リボジトリからインストーラーをダウンロードしてオールインワンインストー ラーを準備しています 完了 | |
| | |
| 閉じる | |

以上でオールインワンインストーラーの作成は完了です。 手順 13 で指定した場所に、オールインワンインストーラーが保存されていることを確認 し、クライアントに配布してください。 A-2-2. オールインワンインストーラー(EM エージェントのみ)の実行 【クライアント側作業】

オールインワンインストーラーを各クライアント端末上で実行し、EM エージェントをインストールします。

以下にオールインワンインストーラーの実行手順を記載します。

1. オールインワンインストーラーを右クリックより、「管理者として実行」をクリ ックします。

| e | |
|----------------|--|
| ESMC_i 4.ja | 開く(O) 管理者として実行(A) 互換性のトラフルシューティング(Y) スタートにピン留めする(P) Windows Defender でスキャンする ☆ 共有 |
| | アクセスを許可する(G) > タスク バーにピン留めする(K) 以前のパージョンの復元(V) 送る(N) |
| | 309取9(1) コピー(C) ショートカットの作成(S) 削除(D) 名前の変更(M) |
| | プロパティ(R) |

2. 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックします。

| ユーザー アカウント制御 | | × |
|---------------------------------|-------------|---|
| この不明な発行元からのア 加えることを許可しますか? | プリがデバイスに変更を | |
| ESMC_Installer_x64.exe | | |
| 発行元: 不明 ファイルの入手先: このコンピューター. | 上のハード ドライブ | |
| 詳細を表示 | | |
| はい | いいえ | |
| | | |

3. 以下の画面が表示され、アプリケーションが起動します。



4. 「Continue」をクリックします。



5. 以下のような画面が表示され、自動的にインストールが進みます。

| | | | - × |
|-----------------------------------|--------------------|--|--|
| | Installation in p | rogress | ? |
| Welcome Installation Finish | | Unparalleled performance ESET's multi-layered technology uses intelligence fro sensors worldwide to ensure you get the maximum protection with the lowest possible demands on you | m 100 million level of r system. |
| | Installing | | 82 % |
| | | | |
| | Validating install | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | Cancel | | |

6. 「Installation successful」画面が表示されたら、「Done」ボタンをクリックして ください。

| | - | × |
|------------------------|---|---|
| PACKAGE | Installation successful | ? |
| Welcome | ESET Management Agent has been successfully installed on your computer. You computer will be continuously checked for viruses and malware. | r |
| Installation Finish | Click Done to complete the product setup and begin activation process. | |
| | Learn about security: ESET Knowledgebase | |
| | Connect with ESET: 🕴 Facebook 🎔 Twitter 🚡 Youtube | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | Done | |

以上で、EM エージェントのインストールは完了です。 続いて、「6. クラウドオプション Lite で管理ができていることを確認」 に進んでください。





Web ブラウザからクラウドオプション Lite の ESMC にアクセスし、クライアントの管理状況を確認します。

B-1-1. クライアント用プログラムのインストール【クライアント側作業】

各クライアント端末に ESET クライアント用プログラムをインストールします。

インストール方法につきまして、ユーザーズサイトよりダウンロード可能な各プログラム のユーザーズマニュアルをご参照ください。



クラウドオプションの ERA のソフトウェアインストールタスクを利用して、クライアン トプログラムをリモートでインストールすることも可能です。 実施手順につきまして、以下の Web ページをご参照ください。 【【V6.2 以降】クライアント管理用プログラムに搭載されているソフトウェアインスト ールタスクを使用して、クライアント用プログラムをリモートインストールするには?】 https://eset-support.canon-its.jp/fag/show/5165?site_domain=business

【HTTP プロキシを経由する場合】

インターネット接続にプロキシサーバーを経由する場合は、以下参照しプロキシ サーバー設定を行ってください。 詳細は、各プログラムのユーザーズマニュアルをご参照ください。

- ◆Mac クライアント用プログラム 「詳細設定」→「プロキシサーバー」
- ◆Linux サーバー用プログラム
 Web インターフェースより、「Configuration」→「Grobal」→「Deamon options」
 →「Proxy address」と「Proxy port」
- ◆Linux クライアント用プログラム 「詳細設定」→「その他」→「プロキシサーバー」

B-1-2. エージェントライブインストーラーの作成【管理サーバー側作業】

クラウドオプション Lite でクライアントの管理を行うためには、クライアント用プログラ ムのほかに EM エージェントのインストールが必要です。EM エージェントをインストール するには、EM エージェントインストール用の bat ファイル「エージェントライブインスト ーラー」を利用します。

以下に、オールインワンインストーラー(EM エージェントのみ)の作成手順を記載します。

1. Web ブラウザより、「**3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備**」で確認した 「Web コンソール(管理画面)ログイン用 URL」にアクセスします。

以下の画面が表示されますので、「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)。」 をクリックします。

| 8 | この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります。 |
|-----|---|
| | この Web サイトで提示されたセキュリティ証明書は、信頼された証明機関から発行されたものではあ |
| | りません。 |
| | この Web サイトで提示されたセキュリティ証明書は、別の Web サイトのアドレス用に発行されたも のです。 |
| | セキュリティ証明書の問題によって、詐欺や、お使いのコンピューターからサーバーに送信される情報 を盗み取る意図が示唆されている場合があります。 |
| | |
| | このページを閉じて、この Web サイトの閲覧を続行しないことを推奨します。 |
| | ⌀ ここをクリックしてこの Web ページを閉じる。 |
| - [| 😵 このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)。 |
| | · · · · · · · · |

- ※ ここでは、ESET Security Management Center インストール時に作成したセ キュリティ証明書を利用しているため、管理画面アクセス時に上記の注意画面 が表示されます。
- ※ お使いのブラウザより、表示内容が異なります。

「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」で確認した①「ESMC ログイン名
 ②「ESMC ログインパスワード」を入力し、③「日本語」を選択して、④「ログイン」をクリックします。

| ログイン | |
|---|--|
| ٨ ٩ ٨ ٩ ٩ | |
| ③ • 日本語 • | |
| ドメインユーザーとしてログイン マルチタブでのセッションを有効化 | |
| ④ ログイン パスワード変更 | |

5. 左メニューより、「インストーラー」→「インストーラーの作成」→「エージェントライブインストーラー」をクリックします。

| eset | | MENT CENTER | | |
|--------|---------|--------------------|-------------|---------|
| | | インストーラー アクセスグループ 避 | R 前 フィルタの追加 | プリセット マ |
| 돠 | | 名前 | タイプ | 製品 |
| | | | | 使用できるデー |
| afa | | | | |
| Þ | | | | |
| Ë | インストーラー | | | |
| ۲ | | | | |
| ٨ | | | | |
| ب ب | | | | |
| γ. | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | オールインワンインストーラー | | |
| | | エージェントライブインストーラー | | |
| | | | | |
| E | 折りたたみ | インストーラーの作成 マ ダウンロー | ド マ アクション マ | |

- 4. ①「ESMC証明書」が選択されていることを確認します。
 - ② ESMC 証明書に証明書が登録されていることを確認します。
 ③ 「証明書パスフレーズ」には、「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」 で確認した「証明書パスフレーズ」を入力します。

 - ④「続行」をクリックします。

| eser | SECURITY MANAGEMENT CENTER | |
|------------------------------|----------------------------|--|
| | エージェントライブインストーラ | |
| ▲ ™ № ¶ ⊗ & * · · > | xmaa | |
| Ð | 展会 総行 終了 キャンセル | |

5. 名前を入力します。 ※説明の入力は任意です。

| eser | SECURITY MANAGEMENT | CENTER G v I>t |
|----------|-------------------------------------|--|
| t | エージェントライブインス インストーラー 〉 エージェントライズ | くトーラ ^{グインストーラ} |
| A | 証明書 | 名前 |
| | コンフィグレーション ダウンロード | エージェントライブインストーラー 説明 ・ サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス) ・ クライアントから勝続できるサーバーの水スト名を入力します。空白の場合は、サーバーの水スト名が使用されます 親グループ(任意) 選択 新しい場合グループ |
| e | | 展る 終行 終7 キャンセル |

- ①「サーバーホスト名(またはサーバーの IP アドレス)」に「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」で確認した「ESMC サーバー/ERA サーバーの IP アドレス」を入力してください。
 - 2 「親グループ (任意)」では、[選択]をクリックし、ご利用開始時に提供されて いる既定のグループを必ず選択してください。(P28 参照)
 - ③「終了」をクリックします。

| eser | SECURITY MANAGEMEN | CENTER | G |
|--------------------|----------------------------------|------------------------------|---|
| | エージェントライブイン インストーラー 〉 エージェントラ | ストーラ ブインストーラ | |
| ▲ \; ■ • | 証明書 コンフィグレーション ダウンロード | 名前 エージェントライブインストーラー 説明 | |
| ب م ج س > | | サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス) | × |
| | | A: 新しい場例グループ」 | |
| | | (3) ETT #7 #7>UL | |
| | | | |

7. ご利用の OS に応じて、「Linux 用エージェントインストーラ」または「Mac 用エ ージェントインストーラ」をダウンロードします。 ※「ESMCAgentInstaller.tar.gz」がダウンロードされます。

| CSET | SECURITY MANAGEMENT C | ENTER |
|-------------|---------------------------------------|---|
| | エージェントライブインスト インストーラー 〉 エージェントライブイ | >-5 >2h-5 |
| ▲ ≅ ₽ | 証明書 コンフィ グ レーション ダウンロード | ダウンロードするバッケージ WindowJ用エージェントインストーラ ダウンロード |
| ୁ ଜ ୁ | | はmax用エージェントインストーラ ダウンロード Mac用エージェントインストーラ ダウンロード |
| > | | |
| | | |
| œ | | (双方) 続け (別じろ) |

ダウンロードが完了したら、各クライアントに配布し実行します。

<事前準備>HTTP プロキシを経由する場合【管理サーバー側作業】

各クライアントが HTTP プロキシを経由してクラウドオプション Lite の ESMC に接続する 場合は、エージェントライブインストーラーにプロキシ設定を行います。

HTTP プロキシを経由しない場合は、「B-1-3.エージェントライブインストーラーの実行」 に進んでください。

【HTTP プロキシを経由する場合、エージェントライブインストーラー変更方法】

- ◆Mac 用エージェントライブインストーラー
 - 1. 「ESMCAgentInstaller.tar.gz」を展開し、ESMCAgentInstaller.sh に以下を追 記します。

echo ″ <key>ProxyHostname</key><string>プロキシサーバーの IP アドレス</string>″ >> ″\$local_params_file″

echo ″ <key>ProxyPort</key><string>プロキシサーバーのポート</string>″ >> "\$local_params_file"

echo ″ <key>ProxyUsername</key><string></string> >> "\$local_params_file"

echo ″ <key>UseProxy</key><string>1</string>″ >> ″\$local_params_file″

76 echo "<dict>" >> "\$local_params_file"↓ <key>Hostname</key><string>\$eraa_server_hostname</string>">> "\$local_params_file"+ <key>SendTelemetry</key><string>\$eraa_enable_telemetry</string>">> "\$local_params_file"+ 78 echo 79 echo 80 echo " <key>Port</key><string>\$eraa_server_port</string>">> "\$local_params_file"+ 81 82 83 ↓ 84 <u>echo</u> 85 echo 86 echo 87 echo <key>ProxyHostname</key><string>10______k/string>" >> "\$local_params_file" <key>ProxyPort</key><string>8C0U/string>" >> "\$local_params_file" <key>ProxyUsername</key><string></string>" >> "\$local_params_file" <key>UseProxy/key><string>1</string>" >> "\$local_params_file" <key>UseProxy</key><string>1</string>" >> "\$local_params_file" " 89 91 if test -n "\$eraa_peer_cert_pwd"+ 92 then↓ echo " <key>PeerCertPassword</key><string>\$eraa_peer_cert_pwd</string>">> "\$local_params_file"+ <key>PeerCertPasswordIsBase64</key><string>yes</string>" >> "\$local_params_file"+ 93 echo " 94 95 fi 🖡 96

97 echo ″ <key>PeerCertContent</key><string>\$eraa_peer_cert_b64</string>″ >> ″\$local_params_file″↓

2. さらに、以下を変更します。

eraa_http_proxy_value="http://プロキシサーバーの IP アドレス:ポート"

done < "\$local_migration_list"+ local_dmg="\$(mktemp -q -u /tmp/EraAgentOnlineInstaller.dmg.XXXXXXXX)"+ echo "Downloading installer image '\$eraa_installer_url':"+ eraa_http_proxy_value="<u>http://l______:(__</u>"+ then+ export use_proxy=yes+ export use_proxy=yes+ export http_proxy="\$eraa_http_proxy_value"+ (curl --connect-timeout 300 --insecure -o "\$local_dmg" "\$eraa_installer_url" || cur else+ curl --connect-timeout 300 --insecure -o "\$local_dmg" "\$eraa_installer_url" && echo fi+

3. 設定を保存し、クライアントに配布します。

- ◆Linux 用エージェントライブインストーラー
- 1. 「ESMCAgentInstaller.tar.gz」を展開し、ESMCAgentInstaller.sh に以下を追記します。

```
--proxy-hostname=プロキシサーバーの IP アドレス ¥
```

--proxy-port=ポート¥

※ ¥かバックスラッシュかはエディタによって表示が変わります。

| <pre>echo echo Running installer script \$local_installer echo \$usesudo /bin/sh "\$local_installer"\ skip-license \ hostname "\$eraa_server_hostname"\ port "\$eraa_server_port"\ proxy-hostname=1 proxy-hostname=1 proxy-port=8\ cert-path "\$local_cert_path"\ cert-password "env:_ERAAGENT_PEER_CERT_PASSWORD"\ cert-password "env:_ERAAGENT_PEER_CERT_PASSWORD"\ cert-password.is-base64\ initial-static-group "\$eraa_initial_sg_token"\ disable-imp-program\ \$(test -n "\$local_ca_path" && echocert-auth-path "\$local_ca_path")\ \$(test -n "\$eraa_product_uuid" && echoproduct-guid "\$eraa_product_uuid")\ \$additional_params</pre> | <pre>export _ERAAGENT_PEER_CERT_PASSWORD="\$eraa_peer_cert_pwd"</pre> |
|---|--|
| <pre>\$usesudo /bin/sh "\$local_installer"\skip-license \hostname "\$eraa_server_hostname"\port "\$eraa_server_port"\proxy-hostname=1proxy-port=8\cert-path "\$local_cert_path"\cert-password "env:_ERAAGENT_PEER_CERT_PASSWORD"\cert-password-is-base64\initial-static-group "\$eraa_initial_sg_token"\disable-imp-program\ \$(test -n "\$local_ca_path" && echocert-auth-path "\$local_ca_path")\ \$(test -n "\$eraa_product_uuid" && echoproduct-guid "\$eraa_product_uuid")\ \$additional_params</pre> | echo echo Running installer script \$local_installer echo |
| | <pre>\$usesudo /bin/sh "\$local_installer"\ skip-license \ hostname "\$eraa_server_hostname"\ port "\$eraa_server_port"\ proxy-hostname=1 \ proxy-port=8\ cert-path "\$local_cert_path"\ cert-password "env: ERAAGENT_PEER_CERT_PASSWORD"\ cert-password-is-base64\ initial-static-group "\$eraa_initial_sg_token"\ disable-imp-program\ \$(test -n "\$local_ca_path" && echocert-auth-path "\$local_ca_path")\ \$(test -n "\$eraa_product_uuid" && echoproduct-guid "\$eraa_product_uuid")\ \$additional_params</pre> |

2. さらに、以下を変更します。

```
eraa_http_proxy_value="http://プロキシサーバーの IP アドレス:ポート"
```

```
f1
local_installer="$(mktemp -q -u)"
eraa_http_proxy_value="http://loc_icc_io_cos:&"")
if test -n "$eraa_http_proxy_value"
then
export use_proxy=yes
export http_proxy="$eraa_http_proxy_value"
(wget --connect-timeout 300 --no-check-certificate -0 "$local_installer"
--no-proxy --no-check-certificate -0 "$local_installer" "$eraa_installer_url
"$eraa_installer_url" > "$local_installer") && echo "$local_installer" >> "$
else
```

3. 設定を保存し、クライアントに配布します。

以上で、HTTP プロキシ経由する場合のエージェントライブインストーラー変更作業は完了です。

B-1-3. エージェントライブインストーラーの実行【クライアント側作業】

エージェントライブインストーラーを各クライアント端末上で実行し、EM エージェント をインストールします。

実行手順につきましては、ユーザーズサイトからダウンロード可能な「ESET Security Management Center V7.0 ユーザーズマニュアル」の P224「エージェントライブイン ストーラーの実行」より、使用する OS の実行方法をご参照ください。

以上で、EM エージェントインストールは完了です。

続いて「6. クラウドオプション Lite で管理ができていることを確認」に進んでください。

6. クラウドオプションで管理できていることを確認【管理サーバー側作業】

ESET Security Management Center でクライアント端末の管理ができていることを確認 します。

以下に、クライアント管理の確認手順を記載します。

「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」で確認した①「ESMC ログイン名」、
 ②「ESMC ログインパスワード」を入力し、③「日本語」を選択して、④「ログイン」をクリックします。

| (eset) S | ECURITY MANAGEMEN | IT CENTER |
|--|---------------------|-----------|
| ログイン | | |
| 1 × k-admin | | |
| 2 A 127-F | | |
| ③ ● 日本語 | * | |
| ドメインユーザーと マルチタブでのセッ | としてログイン ッションを有効化 | |
| (4) ロガイン パス | ワード変更 | |
| | | |
| | ヘルプを開く | |

「コンピューター」のクライアントの一覧画面よりクライアントが表示されていることを確認してください。
 ※クライアント展開時に所属する静的グループを指定した場合は、そちらの各グループを選択してご確認ください。

| ese | SECURITY MANAGEN | MENT CENTER | | G ⊽ ⊐>ピュ- | ター名の検 | クイックリンク 🗢 | ③ へレブ ▽ | 우 A1UYKUJ@99 | → > 14 7 7 |
|-----|------------------|---------------------------------|-------------------------|--------------|-------|--------------------|------------|--------------|-----------------------|
| | | コンピューター | ▲ ● ✓ ○ Vブグループの表示 : | フィルタの追加 プリせっ | v ► ▼ | | | | C |
| G | コンピューター | グループ | マ () ふ コンビューター名 | ನರ್- ೩೨- | €9: | 前回の接続 | 79- | 骨舷 セキュリラ | t#: @ |
| A | | へ 🗅 すべて (3) | TT A001-99 (3) | | | | | | |
| | | へ 口 A001-09 (3) 日 新しい静的グループ (0) | | × | 更新 | 2019年3月11日1721 | 0 | 0 ESET Endp | ol 7.0.209 |
| | | | | • | 更新 | 2019年 2月 28日 16:29 | 8 1 | 0 ESET Endp | oi 7.0.209 |
| | | | | | | | - | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | < | | | | | | > |
| | | | ● 新焼造革 マ アクション マ ミュート マ |] | | | | K 6 | 1 🛛 🛛 |

 $58 \, / \, 61$

3. 管理対象クライアント端末のステータスが黄色や赤色になっている場合、クライ アント側でエラー(検出エンジンがアップデートされていない、アクティベーショ ンされていない)が発生している可能性があります。

詳細を確認し、ご対応ください。



コンピューター名を実際のコンピューター名に変換する場合は、「サーバータスク」 の「コンピューター名の変更」タスクをご使用ください。 タスクのご使用方法は ESET Security Management Center V7.0 ユーザーズマニ ュアルより、「8.14.7.8 コンピューター名の変更」をご確認ください。

完了

以上でクラウドオプジョン Lite でのクライアント端末の管理は完了です。

その他、ESET Security Management Center の操作方法につきましては、ESET Security Management Center V7.0 ユーザーズマニュアルを参照し、クラウドオプション Lite をご利用ください。

【参考】クライアント端末の詳細情報確認

1. 「コンピューター」の一覧より、任意のクライアントコンピューターをクリック し、メニューから「詳細を表示」を選択します。

| (18) (18) | SECURITY MANAGEMENT | CB | νTER | |
|--------------|-------------------------------|----|--|---------|
| | コンピューター | | ▲ ● ✓ ○ 275%-Joak Jr/508% | 700ah 9 |
| G | グループ | v | >೮-೨-೮-೨-ಕ್ | 25- 5 |
| A | へ 白 がべて(1) へ 白 A007-19 (5) | 0 | | |
| 4 | □ 貸しい夢約グループ (3) | [| | 0 |
| 0 © | | | | × |
| я 0 | | | ○検査 ▷ ○モジュールの距析 ○内総論 ▷ | |
| * > | | | > タスクの満方… + 新景クスク。 ③ 最後に送用されたタスク | |
| | | | スーピーの限り目で… ポリシーの世祖… ウエイクアップコールの読品 ユーラエントの展開… 読品のアクティペーション構築 連絡等 | |
| | | | □ グループに移動- ● 解除. は Su-> | |
| 9 | | | | |

2. 該当クライアントの詳細情報が表示されます。こちらの画面で検出エンジンのバージョン、OS 情報、ESET 設定などが確認できます。

| (Set) | SECURITY MANAGEMENT CEN | ITER 🗔 · | v コンピュー | | | | | |
|-------------|---|---|-----------|--|--|--|--|--|
| | < 床る ンピューター) - で dukus-streament 自日の時間時間 2019年 2月 28日 162201 | | | | | | | |
| 됴 | 1 概要 | | | | | | | |
| A | ③ コンフィグレーション | 10月の治知 | F | | | | | |
| <u>ش</u> | ⑦ ログ | | | | | | | |
| Ē | ▷ タスクの実行 ○ インストール済みアプリケーション | FQDN 1 観グループ /すべて/A001-09 | | | | | | |
| - - | | IP 通用されたポリシー数 1 | Intel[F | | | | | |
| Ř | P 94100 | ダイナミックグループのメンバー なし | | | | | | |
| 0 | | | | | | | | |
| ۍ ۲۰۰۰ ک | 詳補 | 1 t=1)=r)J20 | e | | | | | |
| | | アラート ここをクリックすると、リストを表示します | ESET En | | | | | |
| | | 未確決の発展数 () 第四の時期数回 2010年2月 32日 3400-51 | ESET M | | | | | |
| | | 後出エンジン 1948 (20190228) | 3AA-NN | | | | | |
| | | 実新 灵昕 | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | 1023 D221-9- ▼ | #存 ハードウェア マ | | | | | | |

また、ユーザーズサイトでご提供している機能説明資料なども合わせてご参照 いただき、クラウドオプション Lite をご利用ください。

- ESET Endpoint Protection シリーズ ユーザーズサイト https://canon-its.jp/product/eset/users/
- ※機能説明資料はユーザーズサイトの[プログラム/マニュアル] -[最新バージョンをダウンロード]の、10.製品説明資料・各種手順書より 以下のファイルをダウンロードください。
- ・Windows / Windows Server 向けクライアント用プログラム(V7.x) 機能紹介資料
- ・Mac 向けクライアント用プログラム(V6.x)新機能紹介資料
- ・Linux Desktop 向けクライアント用プログラム(V4.0)機能紹介資料
- ・Android 向けクライアント用プログラム(V2.x)新機能紹介資料
- ・Linux Server 向けクライアント用プログラム(V4.5)機能紹介資料
- ・ESET Security Management Center V7.x 新機能紹介資料

また、弊社 ESET サポート情報ページにて、製品機能・仕様・操作手順などの 情報を公開していますので、ご利用ください。

■ ESET サポート情報 法人向けサーバー・クライアント用製品 https://eset-support.canon-its.jp/?site_domain=business

ご不明な点などがございましたら、上記 Web ページをご確認いただくか、 下記 Web ページより弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

■お問い合わせ窓口(サポートセンター) https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/883?site_domain=business
